# 人にやさしく

校長　菊池　幸博

先日、保護者の皆様向けに、匿名性の高い「いじめ」についての文書を出させていただきました。お読みになり、ご家庭でお話をしていただけたでしょうか。

子どもたちと交わした、「校長先生との３つの約束」はどれも大切なものですが、中でも、「人にやさしくしよう～いじめは、しない・させない・ゆるさない」は子どもたちが安心・安全で豊かに学校生活を送るための基礎となるところです。人にやさしくということは、両掌を合わせることに似ていると思っています。両掌を優しく合わせれば、その感触は柔らかく、ぬくもりを感じることができます。逆におもいきり強く合わせれば、痛みやしびれとなります。周りの友達に向けてとった言動は優しければ優しく自分に返り、傷つけるようなものであれば、必ずや自分自身を傷つけるように返ってきてしまいます。ましてや匿名性の高い誹謗中傷は、こそこそと隠れて行ういじめです。卑怯・卑劣な行動と言わざるを得ません。この卑怯・卑劣ないじめは、受けた側に大きなダメージを与えます。「いったい誰が？」という不安が広がり、心の安らぎを奪われるからです。しかし先述のように、こそこそとした卑怯者の側にも、無自覚のうちにダメージが蓄積されていきます。知らず知らずのうちに心が蝕まれていくのです。そんな子に育っていって欲しくはないのです。

「人にやさしく」は、もちろん友達や周りの人のための言動ですが、実は、自分自身の心の平安のためでもあるのです。その輪が波紋のように、徐々にでも広がっていくことで、本当の意味で、森東小学校が、安心・安全な、子どもたちの学びの居場所となっていくと信じています。

大型連休がはじまります。連休明けには、新型コロナウィルス感染症の保健上の扱いも、２類から５類へ移される予定です、様々な規制が緩和されてきている昨今ですが、事故やけが、あるいは体調不良等のない、楽しい休みを子どもたちとご家族の皆様が過ごされることを願っています。